

第2回「統計エキスパート人材育成コンソーシアム」運営委員会 結果概要

【日時】 2021年9月28日(火) 17:00～18:00

【場所】 オンライン会議 (ZOOM)

【参加者】 委員: 中核機関5名、参画機関5名、及び事務局(別紙のとおり)

【概要】

○ 開会挨拶

- ・ 情報・システム研究機構 統計数理研究所 椿広計 所長より、第1期研修や委託費配分の準備が進んでいることなどについて挨拶

○ 議事

- ・ 情報・システム研究機構 統計数理研究所 山下智志 副所長の議事進行により、以下の議題について審議した結果、委員からの異議や修正意見等は示されなかった。

1. 第1期大学統計教員育成研修について

- (1) Aスキーム育成対象者の選考結果について
- (2) 年度内の研修方法と参画機関の役割について

2. 令和3年度の委託費について

- (1) 委託費配分の事務手続き等について
- (2) 参画機関における委託費執行上の留意点について

3. その他 (第1期研修開講式の開催について)

- ・ この審議結果を踏まえ、今後、第1期研修と開講式の準備、委託費配分の手続きを進めることとなった。
- ・ また、次の質疑応答があった。
 - ・ 育成対象者の選考結果については、参画機関全体に伝わるようにする必要があるのではないかと。
→ 後ほど、この運営委員会資料を全参画機関に送付する。
 - ・ 研修の達成目標の4科目の講義ができるとは何か、また、達成度管理WGの頻度はどのくらいかと。
→ 2年間4クールの研修で、クールごとに1科目の講義ができるようにする。WGは、各クール2回ずつ開催する予定である。なお、第2クール後には、第2期研修に向けた見直しを検討したい。
 - ・ 委託費は、人件費としてはどのように使用できるのかと。
→ 研修生自身の人件費には不可だが、代替業務のための雇用や既存教員のエフォート分に使用できる。
 - ・ 研修生を出さない大学の委託費の使用、また、研修生を参画機関が受け入れる余地についてはどうかと。
→ 育成システム構築のための将来のカリキュラムを今年度に策定することなどが考えられる。また、研修生が他の参画機関で模擬授業を行うことなどは可能性があるため、今後、検討していきたい。
 - ・ 第1期開講式には、事業担当教員だけでなく、広く関心ある教員なども参加しても構わないかと。
→ 多くの参加者が応援することは研修生にとっても良いことなので、参加に問題はない。

(以上)

※文責:コンソーシアム事務局

別紙

第2回 統計エキスパート人材育成コンソーシアム運営委員会

参加委員名簿

令和3年9月28日

【中核機関】

- 椿 広計 (統計数理研究所長)
山下 智志 (統計数理研究所副所長)
千野 雅人 (統計数理研究所 大学統計教員育成センター長)
中西 寛子 (同センター 研修部長・研修主幹)
岩崎 学 (同センター 研修部 教育システム開発主幹)

【参画機関】

- 狩野 裕 (大阪大学 数理・データ科学教育研究センター 副センター長)
梶原 健司 (九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 副所長)
杉山 学 (群馬大学 数理データ科学教育研究センター 副センター長)
竹村 彰通 (滋賀大学 大学院データサイエンス研究科 研究科長)
矢部 博 (東京理科大学 データサイエンスセンター長)

【事務局】

- 澤村 保則 (統計数理研究所 大学統計教員育成センター 統括部長)

※ 中核機関及び事務局(大学統計教員育成センター)構成員の所属・名称は、2021年1月を目途に段階的に整備中のもの。